



再生可能エネルギーによる、循環型社会の実現

真庭市は市域の約8割を森林が占め、文字通り里山の資源と共生しています。そんな地域資源を活用した「再生可能エネルギー」が、再び真庭の暮らしに還元される「循環型社会」のイメージをシンボルマークとして図案化しました。

シンボルマークの上部はM(まにわの頭文字)、下部はW(わっとの頭文字)を表し、同時に真庭市の豊かな森林資源である山々の連なりも表現しています。また、全体としてみた時のフォルムは「無限(∞)マーク」を形成し、地域資源である山林から生まれたエネルギーが、持続的に日々の暮らしに寄与していく、「永遠なる可能性」と「循環」を意図するデザインとなっています。